3年生学芸会台本

「何でも引受株式会社」

名前

学芸会配役

あんない役

まさお

ちえこ

くにお

ちえこ母

学校の先生

日直

学校の児童

社員1

社員2

社員3

社員4

社員5

給食当番

なおと

クラスB

さゆり

ただし

かずき

♪ 登場の音

案内役 「宿題や家の手伝い、世の中には面倒くさいことがたくさんあります
しかし、もしもそんなことをすべてやってくれる会社がこの世にあ
ったら・・・あなたならどうします。」

♪ チャイム

日直 「これで、帰りの会をおわります」

全員 「終わります」

日直 「きりつ、気をつけ、さようなら」

全員 「さようなら」

先生 「あ、まさお、ちょっと残りなさい。」

暗転後、先生とまさおにスポットをあてる

先生 「まさお、昨日も宿題やってこなかったな？」

まさお 「いやあ、ちょっと・・・」

先生 「ちよっとじゃありません。今までの分、必ずやって明日。持って
きなさい！」 ↓大量のプリントをまさおにわたす

まさお 「はい……」

暗転後、まさおにスポットをあてる

まさお 「は〜あ、なんで家に帰ってまで勉強をしなくちゃいけないんだ。勉強なんてだいじかいだ！もう、めんどくさい。」

♪ 5人組登場音楽

社員 A 「あなたのなやみ、かいけつしましょう」

社員 B 「めんどくさいこと、われらのついで」

社員 C 「あなたは楽しんでいればいい」

社員 D 「ポイント制のわれらの会社」

社員 E 「ポイントたまれば、あなたもホニャララ」

まさお 「何なんだ、あんたたちは」

社員 A 「あなたが、いった、めんどくさいと」

社員 B 「だからかわりに、われらがやるうか」

社員 C 「あなたのめんどくさいことを」

社員 D 「ポイント制のわれらの会社」

社員 E 「ポイントたまれば、あなたもホニャララ」

まさお 「つまり、俺の代わりにたまりにたまった宿題をやってくれるってわけだな？」

社員全員 無言でうなづく（かなりの間を大切に）

社員 A 「われわれ」

社員全員 「こういうものです」↓名刺をだす

まさお 「なんでも引受株式会社？」

社員全員 無言でつなずく まこと、しばらく考える

まさお 「それじゃあ、お言葉に甘えて、お願いしちゃおつかな？」

社員B 「では、ここに、サインを」

社員全員 「たしかに」

社員 「それでは、位置について」↓笛を鳴らす

♪ 天国と地獄

ここで社員全員で、まさおからプリントをもらい、
ものすごい早さで問題をといていく

まさお 「おお、あつという間に・・・しかもていねいだ」

社員C 「それでは、今回で40ポイントたまりました」

まさお 「ポイント？ポイントってなんだい？」

社員D 「また、用がある時は、めんどくさいと一声出して下さい」

遠くから「めんどくさい(ちえこ)」の声

社員E 「行かなくては・・・では」

社員全員、声の方にぜんそくでかけていく。

まさお 「なんだったんだ。でも、ありがたい！」

暗転

♪そしじきの音

ちえこ母「ちえこ〜ちえこ〜いいかげん起きなさい」

ちえこ「後5分〜ん」

※ちえこ母、ちえこをそっじきですっ

ちえこ「うぎゃーすわれる〜」

ちえこ母「何言ってるの？もうお昼よー！」

ちえこ「ええ！なんでおこしてくれないの？」

ちえこ母「いいから起きなさいー！」 いやいや起きる

ちえこ母「今からお母さん、買い物に行ってくるから、あなたはみんなのお皿洗って、

せんとくものをほして、お米をたいておくのよ」「↓ゆびで123とカウント

ちえこ「ええ〜！お母さんは仕事は買い物一つ、私は3つ、ふじりへんこんな不公平よー！」

ちえこ母「いいわよ、かわってあげる。」

ちえこ「本当？」

ちえこ母「その代わりに、あなたは、豚肉200gに鳥のもも肉を300g、ほうれん草、小松菜こまつなに、

だいこんにんじん、じゃがいも、たまねぎ、なす、ごぼう、あぶらあげに、しょう

がにみょうが、ちくわにさんま、いかたこほたて、トイレットペーパーに、そうだ、

ノンコレステロールサラダ油も買ってね。はい、覚えてわね？」

ちえこ「・・・家の仕事、やります」

ちけこ母「はい、それじゃ〜よろしくね、行ってきます」

暗転

ちえこ「あ〜あ、休みの日ぐらい家で一日中、べろべろしていたいよー！

もう、仕事なんて、めんどくさ〜いー！」

♪ 5人組登場音楽

社員A 「あなたのなやみ、かいけつしましょう」

社員B 「めんどくさいこと、われらのじつと」

社員C 「あなたは楽しんでいればいい」

社員D 「ポイント制のわれらの会社」

社員E 「ポイントたまれば、あなたもホニャララ」

ちえこ 「あなたたちは、だれ？」

社員A 「あなたが、いった、めんどくさいと」

社員B 「だからかわりに、われらがやろうか」

社員C 「あなたのめんどくさいことを」

社員D 「ポイント制のわれらの会社」

社員E 「ポイントたまれば、あなたもホニャララ」

ちえこ 「つまり、わたしのかわりに家の仕事をしてくれるってこと？」

社員全員 無言でうなづく(かなりの間を大切に)

社員A 「われわれ」

社員全員 「こういうものです」↓名刺をだす

ちえこ 「なんでも引受株式会社？」

社員全員 無言でうなづく ちえこ、しばらく考える

ちえこ 「それじゃあ、お言葉に甘えて、お願いしちゃうかな？」

社員B 「では、ここに、サインを」

社員全員 「たしかに」

社員 「それでは、位置について」↓笛を鳴らす

♪ 天国と地獄

社員、もうスピードで家事をこなしていく

ちえこ 「は……はい！」

社員C 「それでは、今回で30ポイントたまりました」

ちえこ 「ポイント？ポイントってなに？」

社員、手で制する

社員D 「また、用がある時は、めんどくさいと一声出して下さい」

遠くから「めんどくさい（くにお）」の声

社員E 「行かなくては……では」

社員全員、声の方にぜんそくでかけていく。

ちえこ 「なんだったんだろう？でも、いっか。とくしちゃった」

暗転

チャイム

クラスの子どもたち 「やった〜給食だ〜」と叫ぶ

机を並べて、給食のかんを置く

その前に並んでよそってもらおう人が5人くらい並んでいる

その中にはまさおとちえいもいるらしい。

給食当番 「はい、野菜はみんなたくさん食べてね」

くにお、なぜか、野菜のかんだけとばしていく

給食当番 「あれ？なんでくにお君、野菜だけとばすの？」

なおと 「あくさてはくにお、野菜きらいなんだ」

くにお 「ち、ちがうよー」

なおと 「お前、よく残すもん、まちがえないね。先生にいつてやろ」

くにお 「や、やめろよ、・・ちよ、ちよつとトイレに行つてくる」

暗転↓くにおにスポット

くにお 「あくあ、野菜、食べたくないな。なんで嫌いなものを食べなきゃならないんだ。あくめんどくさい！」

♪ 5人組登場音楽

社員 A 「あなたのなやみ、かいけつしましょう」

社員 B 「めんどくさいこと、われらのついで」

社員 C 「あなたは楽しんでいればいい」

社員 D 「ポイント制のわれらの会社」

社員 E 「ポイントたまれば、あなたもホニヤララ」

くにお 「何なんだ、あんたたちは あ、あれ？みんなには見えていないのかな？」

社員 A 「あなたが、いった、めんどくさいと」

社員 B 「だからかわりに、われらがやろうか」

社員C 「あなたのめんどくさいことを」

社員D 「ポイント制のわれらの会社」

社員E 「ポイントたまれば、あなたもホニヤヲヲ」

くにお 「つまり、俺の代わりに野菜を食べてくれるってこと？」

社員全員 無言でつなずく（かなりの間を大切に）

社員A 「われわれ」

社員全員 「こつこつものです」↓名刺をだす

くにお 「なんでも引受株式会社？」

社員全員 無言でつなずく まこと、しばらく考える

くにお 「それじゃあ、お言葉に甘えて、お願いしちゃおつかな？」

社員B 「では、ここに、サインを」

社員全員 「たしかに」

社員 「それでは、位置について」↓笛を鳴らす

♪ 天国と地獄

ここで社員全員でかんの中を食べつくす

くにお 「おお、あつという間に・・・にんじん一つも残っていない」

社員C 「それでは、今回で50ポイントたまりました」

まさお 「ポイント？ポイントってなんだよ。」

社員、手で制する

社員D 「また、用がある時は、めんどくさいと一声出して下さい」

くにお 「あんだたたちはいったいなんなんだ！」

ちえこ 「あ……あれ？くにお君、あなたも？」

くにお 「え、あなたもって、」

まさお 「僕たちも、最近、この会社を利用してるのさ」

くにお 「どっいっこと？」

ちえこ 「この人たちは、私たちのめんどくさいこと、全部してくれるんだよ」

まさお 「僕とちえこは、めちゃくちゃ利用して、そりゃもう毎日、天国さ」

くにお 「へえ、そりゃ便利だな、んじゃあこれからも、よろしくー！」

社員E 「それでは、またのご利用を……」

社員全員、ゆっくりとはけていく

暗転

録音声 「こうして、僕たちは、この会社を利用し続け、ポイントはどんどんたまっていった。」

「でも、それがいけなかった。僕たちは大切なことに気づいていなかった」

3人登場（ランドセル背負って）

まさお 「いやあ、でも、本当に便利だね、犬の散歩いってくれたり」

ちえこ 「うん、うん。私はこの前、習い事の習字にいつてもらっちゃった」

くにお 「俺なんて、この前、部屋のまんがとるのも頼んじやったよ。」

まさお 「それ、めんどくさがりすぎじゃない？」

3人 「八八八八八」

ちえこ 「あ、このランドセルも運んでもらっちゃおうか」

まさくに 「それ、いいね」

ちえこ 「せーの」

3人 「めんどくさいー!」

♪ 登場音

社員 A 「あなたのなやみ、かいけつしまじょう」

社員 B 「めんどくさいこと、われらのごじや」

社員 C 「あなたは楽しんでいればいい」

社員 D 「ポイント制のわれらの会社」

社員 E 「ポイントたまれば、あなたもホニャララ」

まさお 「はいはい、それではさっそく、このランドセルをお願いします」

社員全員 無言でつなずいて、ランドセルをもつ 5秒後、ランドセルを下におろす

ちえこ 「ど、どつしたの?家までお願い」

社員 A 「どつやち、ここまでのようだ」

社員全員 「どつやち、ここまでのようだ」

社員 B 「ついにたまった1000ポイント」

社員 C 「これで、ようやく解放かいはつされる」

社員D 「ポイント制のわれらの会社」

社員E 「ポイントたまれば……」

くにお 「ポイントがたまれば……なんだよ」

社員E 「あなたが社員！」

社員全員 「あなたが社員！」

暗転後

3人 「うわああああ」

舞台ライトアップ

なおと登場

なおと 「はーあ、今日もじゅくだ。行きたくないな〜めんどくさい〜いー！」

♪社員登場音

まさお 「あなたのなやみ、かいけつしましょう」

ちえこ 「めんどくさいこと、われらのごじや」

くにお 「あなたは楽しんでいればいい」

まさお 「ポイント制のわれらの会社」

ちえこ 「ポイントたまれば、あなたもホニヤララ」

暗転

案内役

めんどくさいこと、やりたくないですね。でも、そこから逃げて、やらなごうと、うっかば
自分に帰ってくる。当然のむくいですね。

ん？なんですって？

これはこれは、失礼しました。この話、ここで終わりではなかったようです。

※可能なかぎり全員赤白ぼつをかぶって登場 用具も全員でです。

先生 「それでは今からとびばこを飛ばぞ、みんな自分のできる技をやってみよう」

先生↓ピツと笛をふくく子どもたちどんどんとんでいく

ただし、さゆり、かずきだけは、とぶことができない。

先生 「どうした、ただし、さゆり、かずきーとびばこの前に手をついてとぶんだ！放課後のこ
って練習しとけよ！明日はテストだぞ」

暗転

ただし、さゆり、かずきだけのこって練習 全然とべない

ただし 「あゝあ、全然とべないや、やっぱりぼくにはむりなんだよ」

さゆり 「わたしも無理、体育なんで大っきらい！」

かずき 「先生は、こうすればとべるとかいうけれど、それでできたら苦労しないっての！」

さゆり 「あゝあ、明日はとびはこのテストでしょ。気分重いな」

3人 「めんどくさい」

♪社員登場音

まさお 「あなたのなやみ、かいけつしまじょう」

ちえこ 「めんどくさいこと、われらのついで」

くにお 「あなたは楽しんでいればいい」

なおと 「ポイント制のわれらの会社」

ちえこ 「ポイントたまれば、あなたもホニャララ」

かずき 「なんなんだ、あなたたちは。」

まさお 「あなたが、いった、めんどくさいと」

くにお 「だからかわりに、われらがやるのか」

ちえこ 「あなたのめんどくさいことを」

なおと 「ポイント制のわれらの会社」

まさお 「ポイントたまれば、あなたもホニヤリ」

ただし 「つまり、俺らのかわりにとびばこの練習をしてくれるの？」

社員全員 無言でうなづく（かなりの間を大切に）

くにお 「われわれ」

社員全員 「こつこつものです」 ↓名刺をだす

さゆり 「なんでも引受株式会社？」

社員全員 無言でうなづく まこと、しばらく考える

ただし 「それじゃあ、お言葉に甘えて、お願いしちゃうかな？」

ちえこ 「では、ここに、サインを」

さゆり 「ま、まって」

ただし 「なんだよ。楽しようぜ！」

かずき 「そつだよ、練習なんてだるいもん」

さゆり 「それは、おかしいよ。練習をするからこそ、とびばこはできるもの」

なるんでしょ。この人たちにまかせたって、何にも変わらないよ。」

ただかず 「・・・たしかに。」

まさお 「明日は、わたしたちが代わりにとびばこをとびましよう。」

ただし 「それなら・・・いいかも」

ちえこ 「では、ここに、サインを。」

さゆり 「それもおかしいよ。その日がよくても、とべるようになったわけじゃない。」

かずき 「そつだな、この人たちがとべても、俺らは全然うれしくない。」

ただし 「そつか、そつだよな。」

かずき 「というわけだ。」

3人 「帰って下さい。」

くにお 「う・・・本当にいいのだな。」

3人 「帰れろ！」 ↓社員たいさん

ただし 「さあ、今日はとことん練習だ！」

3人 「おお！」

暗転

先生 「さあ、今日は跳び箱のテストを行います。」

先生 「それでは、ただしから。」

ただし 「はい。」

クラスB 「ただしくとびはこにぶつからないようにがんばれよ。」

クラス全 「ハハハハハ」

先生 ↓ピツと笛をふく

ただし かいきやくとびをする

クラス 「おお！」

クラスB 「おお、あのただしがとべた！たった一日でとべるようになった！」

先生 「ただしくがんばったな」

ただし 「えへへ」

先生 「では、次、さゆり」

さゆり 「はい。」

クラスC 「さゆりちゃん、できないならむりしなくてもいいからね」

先生↓ピツと笛をふく

さゆり だいじょうぜんてんをひろう

クラス 「おお〜！」

クラスC 「ええ〜むずかしい、だいじょうぜんてんを、たったの一日で！」

先生 「う〜ん、すごいな！」

先生 「では、次かずき！」

かずき 「はい。」

クラスD 「かずきは全然だめだったもんな。何ができるのかな？」

クラス全 「ハハハハハハ」

先生↓ピツと笛をふく

かずき ハンドスプリングをひろう

クラス全 立ち上がって、おどろく

クラス全 「す、すげー！」

先生 「これは、おどろいた！ただし、さゆり、かずき、どうしたんだ？」

3人 「はい、努力したからです」

案内役

「これはおどろきましたね。めんどくさいことをだれかに任せず。自分で努力をしてかい
けつしていく。そうすれば、ふかのうなことも、可能になるのかもしれない。」

こういう人たちがたくさんいれば、何でも引き受け会社なんて、生れなかったかもしれ
ませんね。」

案内役

「それでは、みなさん、またどこかでお会いしましょう。」